

# 第 58 回 番組審議会議事録

1. 開催日時 令和 5 年 7 月 12 日 午後 3 時から
2. 開催場所 よこてイースト 会議室
3. 委員出席  
委員総数 5 名  
出席委員数 5 名  
欠席委員 0 名

出席委員	岡部 えり子	委員長
	佐々木 隆一	副委員長
	土田 百合子	委員
	辻 正憲	委員
	江畑 譲	委員

◎横手コミュニティ FM 放送株式会社

出席者 4 名

高橋 雅博	支援室長
小笠原 豊	放送局長
斎藤 晋平	支援室
細川 正実	営業部／番組審議会事務局

1. (1) 7月課題審議 審議番組

「横手メディカルステーション」(令和5年6月8日 7時30分から放送)

(2) その他

2. 審議事項

(1) ①審議番組 「Seiryō 知っトク RADIO」について

- ・素晴らしい内容。医師会の先生のお話しされている内容もわかりやすくとても聞く人の耳にすっと入る話し方でよかったです。
- ・中高生の全ての保護者に聞いていただきたい番組だと思った。  
知って身近に感じられた。
- ・こうした番組はとても大切だと思う。じっくりとひとつの病について専門家に聞く、できるようでなかなかできないこうした行動を番組リスナーに代わって行うことは大切。
- ・市民にとって有意義な番組。普段医師会の先生方の話は、医療機関を利用したときぐらいしかうかがう機会はないと思う。心身の健康に関すること、病気に関すること等、常に市民にとっては必要な情報。
- ・今回の正樹先生のお話は「中高生の心の病気」についてでしたが、そのことで悩まれている保護者や家族にとって、前向きになれるお話だったと思う。
- ・コロナ禍で対面でのコミュニケーションがとれない時期が長かったせいか、大人も子どももさまざまな生きづらさを感じている。特に子どもは
- ・学生がっているというのを初めて知って驚いた。表現を伝えるのがなかなか難しく体に変調をきたすのだと放送を聴いて改めて認識した。
- ・「どうしても悩みの原因を追究してしまい、問題はそう簡単に解決できない」先生が言われているとおり忍耐強く待つこと、寄り添うことで子どもが成長していくことを CD で聴きながら「そうだったのか」と今更ながらに、これまでのことを振り返りながら反省した。
- ・そばで見ている見ている家族やまわりのひとも辛い思いをしている、そんなときにラジオから医師会の助言、指導はありがたく、特に親の対応の仕方、祖父母の見守りかたなど具体的に教えていただき、ためになった。素晴らしい企画と評価したい。
- ・また、これまでの放送で聞き逃した方もインターネットで聴くことができることを多くの方に知ってもらえるような工夫もしてもらいたい。

(2) その他番組への意見

- ・ホームページをリニューアルされ、見やすく検索できるようだった。できれば番組やカテゴリー項目ごとに整理してコンテンツをまとめることも良いのでは？
- ・豪雨、今年も西の方で大変。地震と違ってある程度予測可能な災害なので、その節、頼りになる FM としてぜひ万全の体制をお願いしたい。
- ・駅前ビルの大問題、かまくら FM としての報道は？

《会社側からの回答》

- ・(ホームページについて) 検討する。
- ・(駅前ビルについて) 記者会見に足を運び、原因などについて報道を行った。

3. 意見の概要の公表

公表の方法 自社ホームページ（URL）への掲載

公表の案内 議事の概要

公表年月日 令和5年8月20日

4. 次回審議番組

「未定」

5. 備考 8月、9月は休会とし、次回は10月に開催予定。